2020年3月期 第2四半期決算 説明会

2019年11月5日

②丸文株式会社

東証1部 7537

© 2019 MARUBUN CORPORATION

2020年3月期第2四半期 連結決算の概要

© 2019 MARUBUN CORPORATION

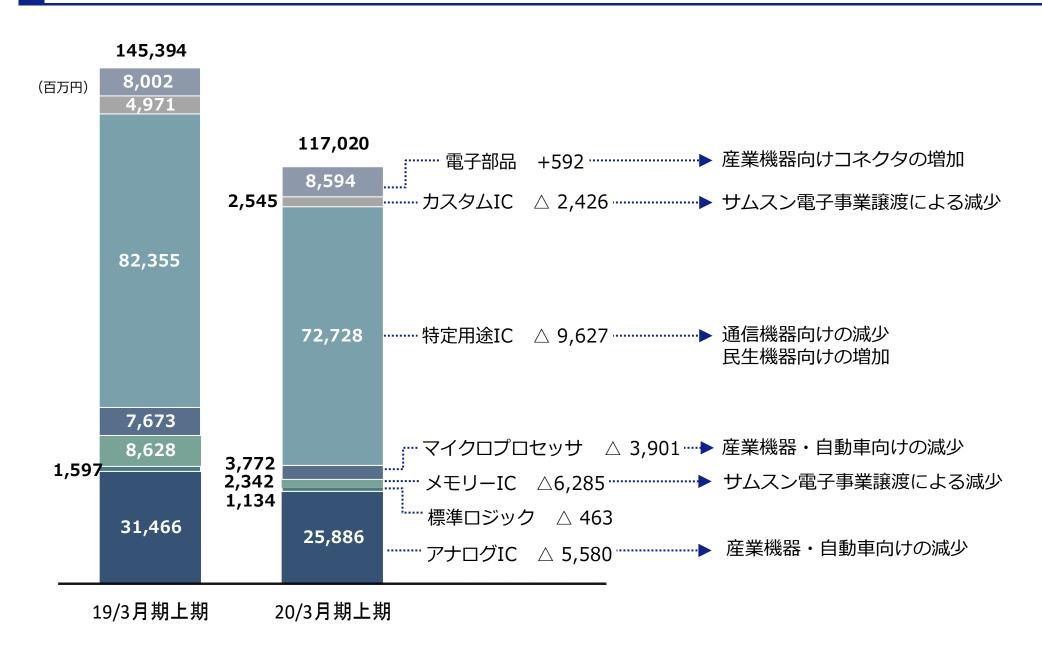
2020年3月期第2四半期 業績サマリ

(百万円)	19/3月	期上期		20/3月期 上期		前年同	期初予想比	
	実 績	構成比	期初予想	実績	構成比	増減額	増減率	増減額
売上高	166,434	100.0%	140,000	138,703	100.0%	△ 27,731	-16.7%	△ 1,297
デバイス事業	145,394	87.4%	117,000	117,020	84.4%	△ 28,374	-19.5%	20
システム事業	21,040	12.6%	23,000	21,682	15.6%	642	3.1%	△ 1,318
売上総利益	11,382	6.8%	9,450	7,985	5.8%	△ 3,397	-29.8%	△ 1,465
販管費	8,807	5.3%	8,800	8,057	5.8%	△ 750	-8.5%	△ 743
営業利益	2,575	1.5%	650	△ 71	-	△ 2,646	-	△ 721
営業外収益	296	0.2%	250	1,146 0.8%		850	287.2%	896
営業外費用	2,254	1.4%	650	751	0.5%	△ 1,503	-66.7%	101
経常利益	617	0.4%	250	323	0.2%	△ 294	-47.6%	73
特別利益	23	0.0%	-	4	0.0%	△ 19	-82.6%	4
特別損失	17	0.0%		237	0.2%	220	1294.1%	237
親会社株主に帰属 する四半期純利益	133	0.1%	△ 185	△ 110	-	△ 243	-	75

Point

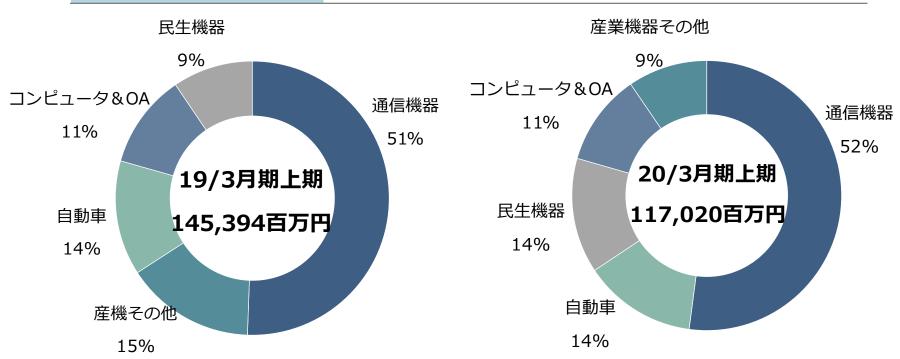
売上高	サムスン電子事業譲渡による減少、通信機器・産業機器向け半導体の需要減
売上総利益	売上高の減少および期中円高進行で円ベースの売上総利益が減少
営業利益	販管費を節減したものの、売上総利益の減少を補えず減益
経常利益	外貨建て債務の決済や時価評価に伴う為替差益9億円計上したが減益

2020年3月期第2四半期 『デバイス事業』品目別売上高



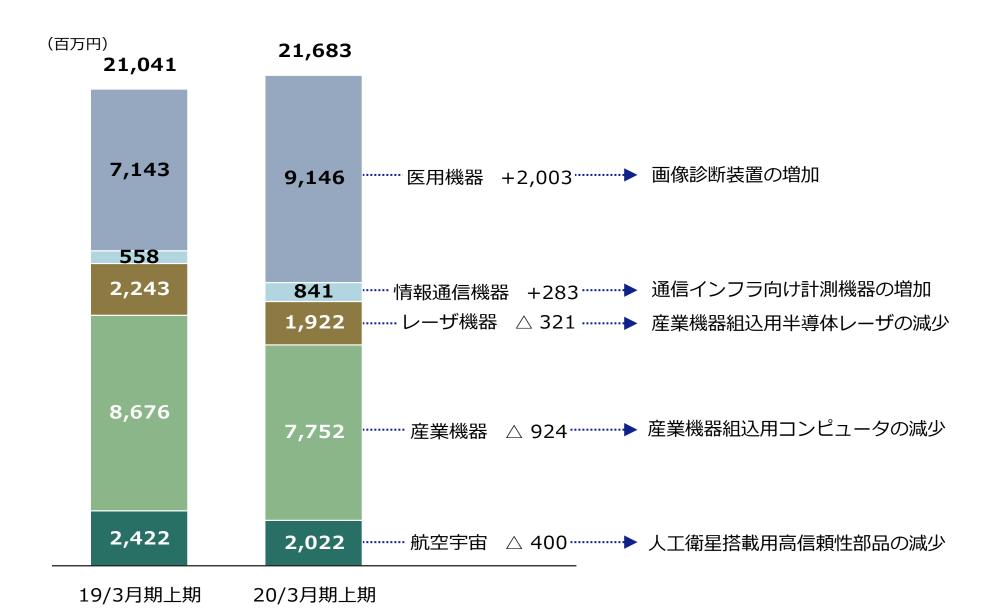
2020年3月期第2四半期 『デバイス事業』用途別動向

用。途		動向
通信機器	>	通信端末向けが減少
自動車	>	インフォテイメント向けが減少
民生機器		新規商権の獲得が寄与
コンピュータ&OA	>	PC周辺向けが増加、OA機器向けが減少
産業機器その他	>	工作機械などFA機器向けが減少



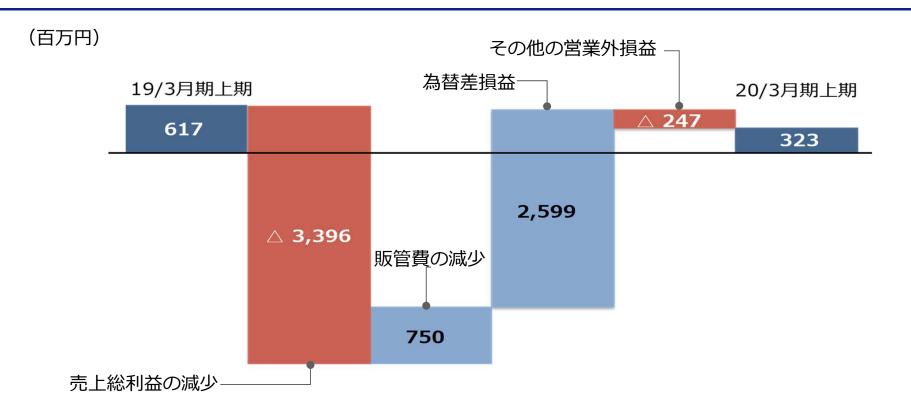
MARUBUN CORPORATION

2020年3月期第2四半期 『システム事業』品目別売上高



MARUBUN CORPORATION

2020年3月期第2四半期 経常利益の増減要因



売上総利益	売上高の減少、今期円高進行による売上総利益の減少 売上総利益率 前期:6.8% → 今期:5.8%
販管費	人件費、販売経費、賃借料等の減少 前期:8,807百万円 → 今期:8,057百万円
営業外損益	為替差損益 前期:為替差損1,612百万円 → 今期:為替差益987百万円

2020年3月期第2四半期 貸借対照表の概要

(百万円)	19/3月期末	20/3月期上期末	前期末比	主な増減理由			
	実績	実績	増減額	土/み垣/ 吹生田			
資産合計	128,163	123,182	△ 4,981	現金及び預金	8,038		
流動資産	113,985	109,167	△ 4,818	受取手形及び売掛金	△ 3,547		
固定資産	14,177	14,014	△ 163	商品及び製品	△ 9,784		
負債合計	78,436	74,485	△ 3,951	短期借入金	△ 4 , 572		
流動負債	75,623	71,847	△ 3,776				
固定負債	2,813	2,637	△ 176				
純資産合計	49,726	48,696	△ 1,030				

中期経営計画 事業戦略と重点施策

© 2019 MARUBUN CORPORATION

事業施策の取組状況 1

▮企業理念

「人と技術とサービスで、お客様のために 新たな価値を創造し、社会発展に貢献する」

中期の取り組み

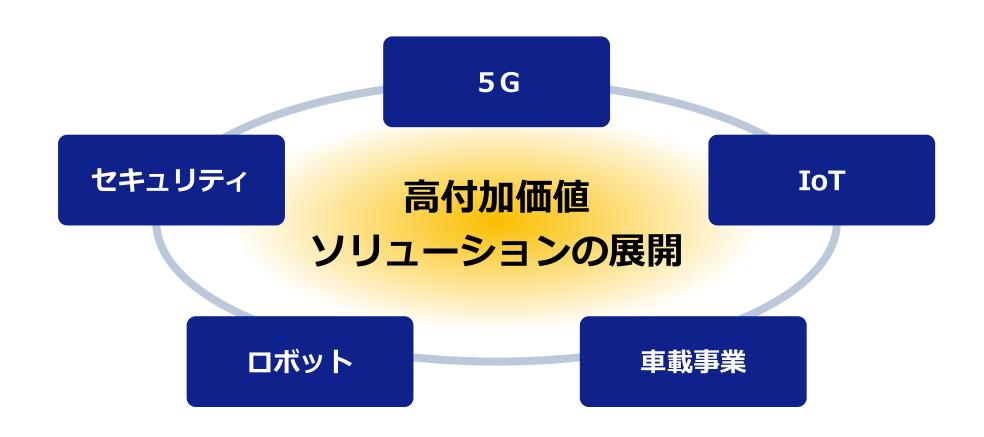
新たな価値を創造するビジネスモデルの構築

成長市場に向けた事業開発の促進

持続可能な社会に貢献する取り組みの強化

事業施策の取組状況 2

環境の変化に対応し、事業基盤の構築・強化を推進



デバイス事業の取り組み

既存ラインカードの深耕

- ■当社シェアの向上と、新規商流の獲得
 - → Cypress社、ABLIC社などで顧客基盤拡大
- 品揃えを強化・補完する新たな仕入先の開発
 - → Autotalks社、GOWIN Semiconductor社など

成長市場での事業拡大

■新規事業の立ち上げを加速

ロボティクス



小型電源



3Dカーボン

ナノテクノロジ

Aeolus Robotics社

FINsix社

Nanoramic社

海外ネットワークの充実

■自動車向けを中心に拡販

システム事業の取り組み

顧客志向 マーケットイン カスタマーイン グループ総合力の 戦略市場での 差別化推進による 商材拡充 競争力強化 発揮

システム事業の分野別の取り組み

航空宇宙機器

- ■人工衛星搭載用高信頼性部品や、地上局向けアン テナ設備などの採用促進
- ■自動車向けのシミュレータなど新規商材の開発

情報通信機器

- 5G通信向けの測定器やシミュレータが好調
- ■自動運転向けGPS関連製品のプロモーション強化



Septentrio社 高精度GPS受信機

産業機器

- ■半導体や電子部品製造市場へ商材の拡充
- ■組込コンピュータの受注促進

■サービスエンジニアの技術向上に注力



2020年3月期 業績予想の概要

© 2019 MARUBUN CORPORATION

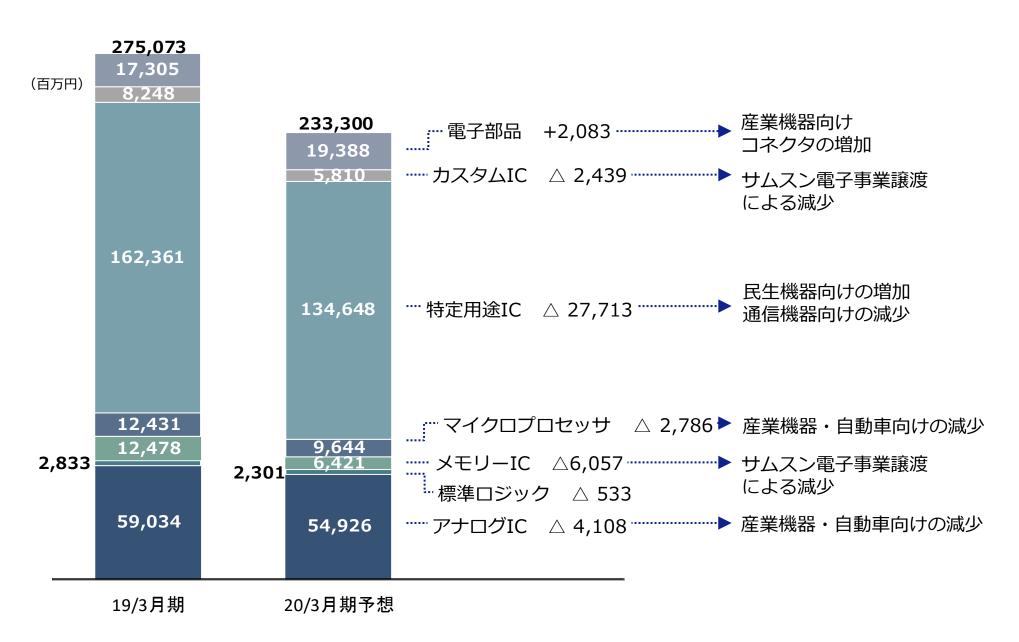
2020年3月期 業績予想サマリ

(百万円)	19/3/	月期	2	20/3月期予想		前期	期初予想比	
	実績	構成比	期初予想	予想	構成比	増減額	増減率	増減額
売上高	326,694	100.0%	291,500	291,500 285,000 1		△ 41,694	-12.8%	△ 6,500
デバイス事業	275,073	84.2%	236,000	233,300	81.9%	△ 41,773	-15.2%	△ 2,700
システム事業	51,621	15.8%	55,500	51,700	18.1%	79	0.2%	△ 3,800
売上総利益	22,767 7.0% 21,50		21,500	19,300	6.8%	△ 3,467	-15.2%	△ 2,200
販管費	17,719	5.4%	17,500	16,400	5.8%	△ 1,319	-7.4%	△ 1,100
営業利益	5,048	1.5%	4,000 2,	2,900	1.0%	△ 2,148	-42.6%	△ 1,100
営業外収益	568	0.2%	600	1,300	0.5%	732	128.9%	700
営業外費用	2,596	0.8%	1,450	1,400	0.5%	△ 1,196	-46.1%	△ 50
経常利益	3,020	0.9%	3,150	2,800	1.0%	△ 220	-7.3%	△ 350
親会社株主に帰属	1,636	0.5%	1,750	1,350	0.5%	△ 286	-17.5%	
する当期純利益	1,030	U.3 70	1,730	1,330	0.5%		-17.570	

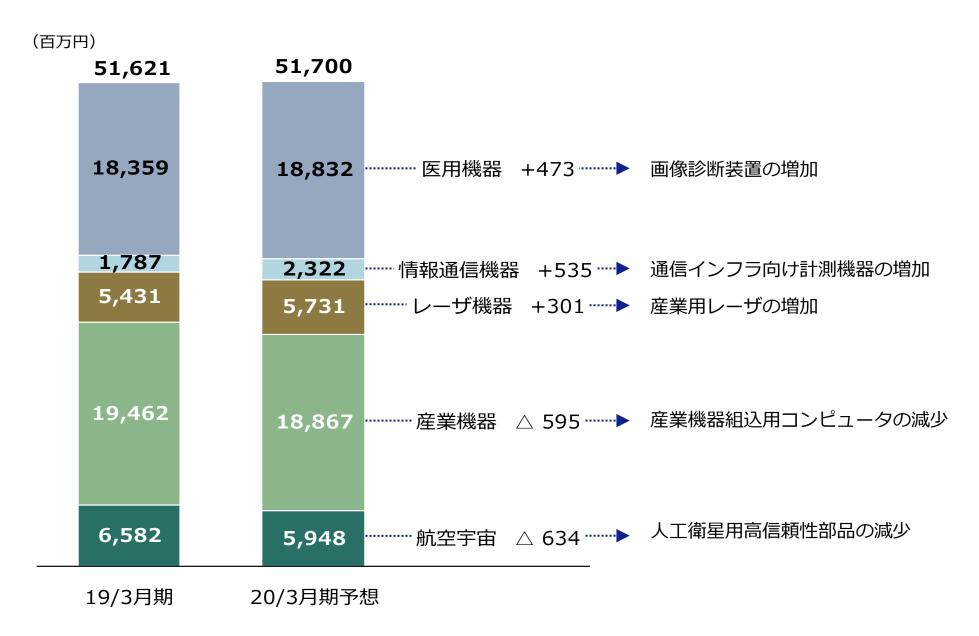
Point

売上高	デバイス:サムスン電子事業譲渡による減少、通信機器・産業機器向け半導体の減少 システム:航空宇宙機器、産業機器の減少
売上総利益	売上減、上期為替変動による減益
営業利益	販管費の削減見込むが、売上総利益の減少により減益
経常利益	上期の為替差益を盛り込むが減益

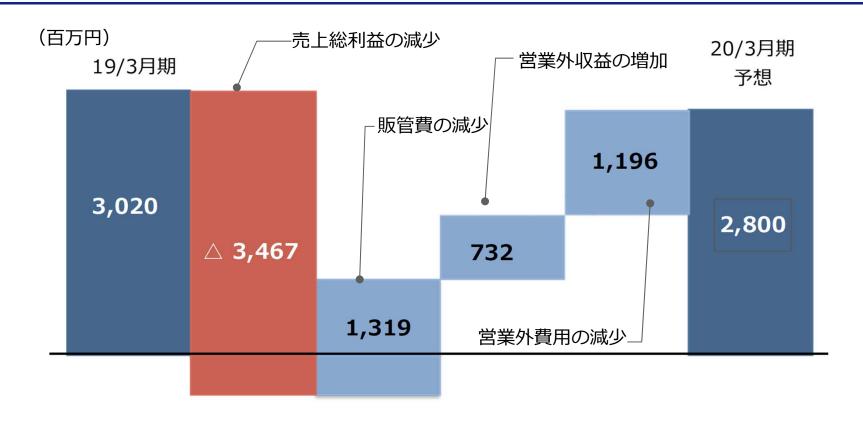
2020年3月期『デバイス事業』品目別売上高予想



2020年3月期『システム事業』品目別売上高予想



経常利益の増減要因(前期 vs. 予想)



売上総利益	売上の減少、上期の円高進行の影響による減少 19/3月期:227億円(利益率7.0%)→20/3月期予想:193億円(6.8%)
販管費	人件費、販売経費等の減少 19/3月期:177億円 → 20/3月期予想:164億円
営業外損益	為替差損益の改善 19/3月期:為替差損12億円 → 20/3月期予想:為替差益9億円

株主還元

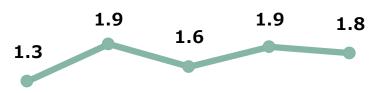
© 2019 MARUBUN CORPORATION

株主還元

配当方針

配当性向 連結30%以上





15/3月期 16/3月期 17/3月期 18/3月期 19/3月期

配当予想

	19/3月期	20/3月期 (予想)			
1株当たり年間配当金(円)	30.00	30.00			
中間配当	10.00	10.00			
期末配当	20.00	20.00			
配当性向(%)	47.9	58.1			

参考情報

© 2019 MARUBUN CORPORATION

企業概況

会社概要

創 業	1844年(弘化元年)
設 立	1947年(昭和22年)7月
所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資 本 金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代 表 者	代表取締役社長 水野象司
売 上 高	連結 3,266億円(2019年3月期) 単体 2,373億円(2019年3月期)
従業員数	連結 1,336名(2019年3月末) 単体 780名(2019年3月末)
株式上場	東京証券取引所 市場第一部(コード:7537)

事業領域

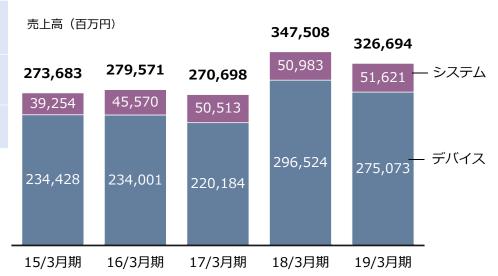
デバイス事業

- 半導体
- 電子部品

システム事業

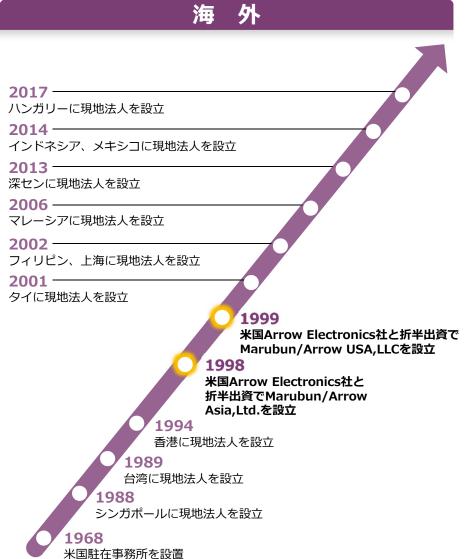
- 航空宇宙機器
- 産業機器
- レーザ機器
- 情報通信機器
- 医用機器

連結売上高の推移

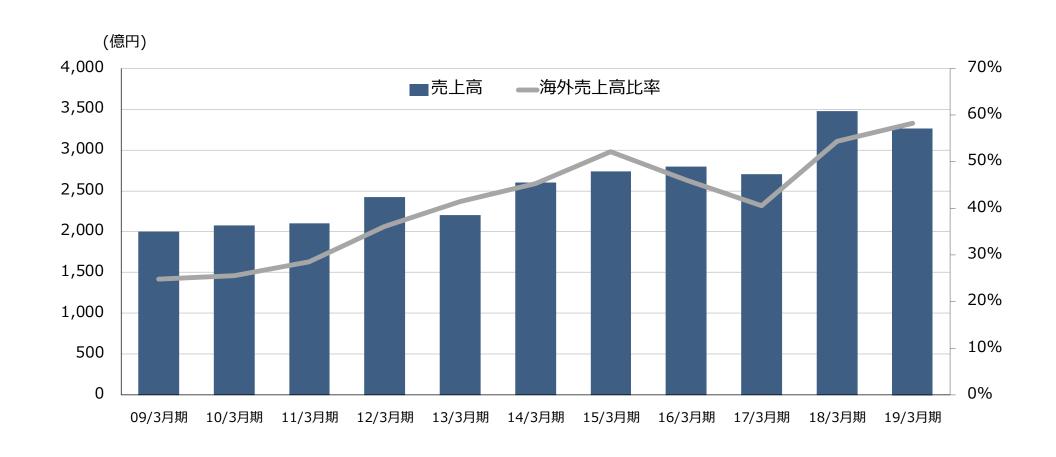


沿革

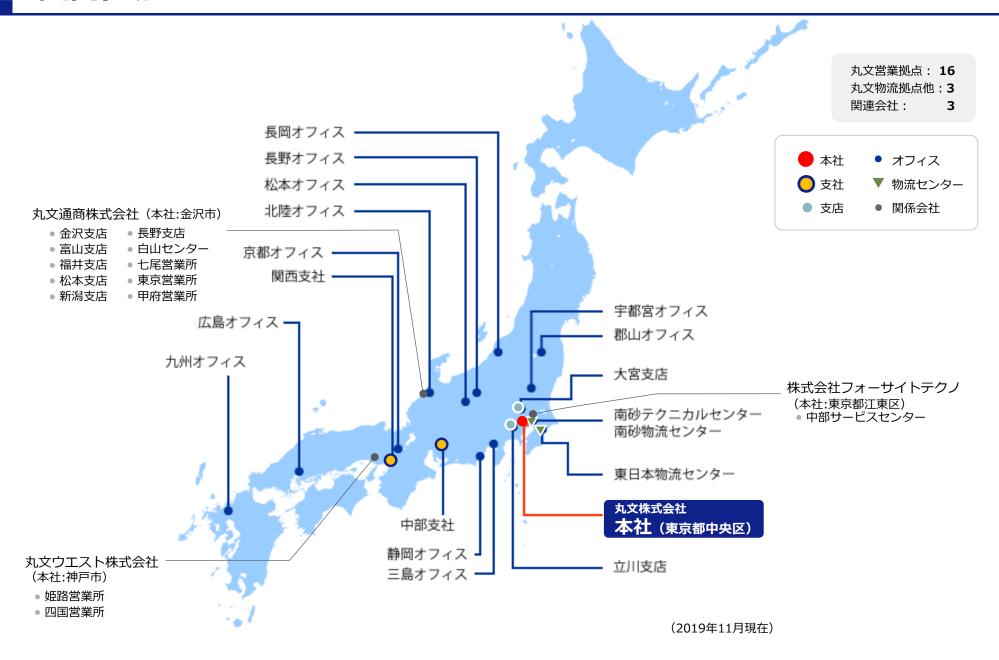




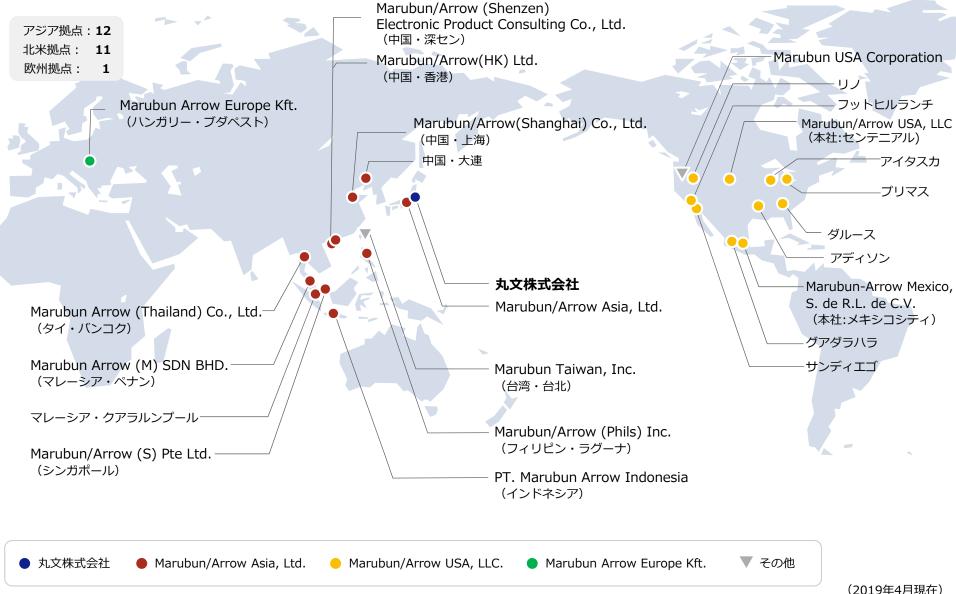
中長期トレンド(売上高・海外売上高比率)



国内拠点



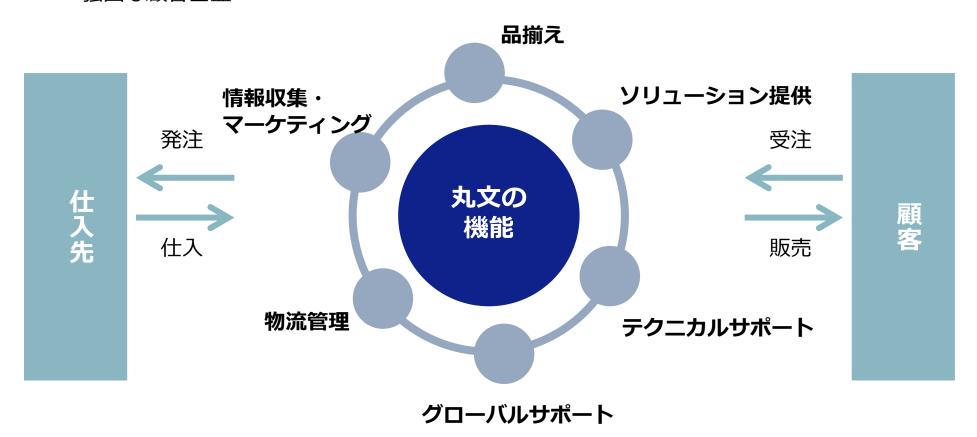
グローバルネットワーク



(2019年4月現任)

デバイス事業:特徴と強み

- ■海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- ■米国アロー社(80ヶ国、349拠点)との提携によるグローバルネットワーク
- ■高度な技術力をもとにしたソリューション提案力
- ■強固な顧客基盤



デバイス事業:グループ会社概要

社 名	住 所	設立年月	出費比率	事業内容		
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100%	丸文アローUSAの持株会社		
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100%	台湾製デバイスの仕入販売		
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50%	丸文アローシンガポール、		
				丸文アロー香港の持株会社		
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Anson Road, Singapore	1988年3月	50%			
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50%			
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50%			
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50%			
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50%			
Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai, China	2002年9月	50%	海外進出した日系企業への		
Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50%	半導体・電子部品の仕入販売		
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50%			
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50%			
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50%			
Marubun Arrow Europe Kft.*	Budapest, Hungary	2017年11月	50%			

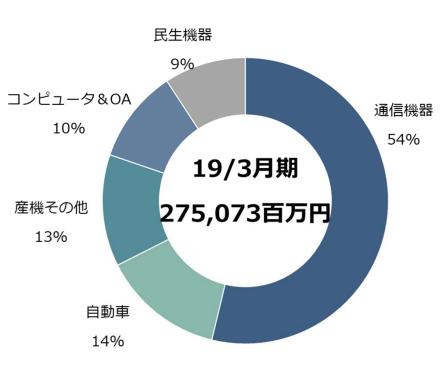
^{*} Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexico、Marubun Arrow Europe Kft.は持分法適用の関連会社です。

デバイス事業:取扱製品(サプライヤ別)

				サプライヤ (アルファベット順)													
			旭化成 エレクトロニクス	エイブリック	Broadcom (米国)	Cypress (米国)	Eink (台灣)	FINsix (米国)	IDT (米国)	Littlelfuse (米国)	Maxim (米国)	Molex (米国)	Qorvo (米国)	SanDisk(WD) (米国)	セイコーエプンン	TexasInstruments (米国)	その他
	アナログIC		•	•	•					•	•		•			•	•
	標準ロジック	ウIC														•	
		DRAM															•
半	メモリーIC	フラッシュ												•			•
-		その他メモリー		•					•					•			
導	マイクロ	MPU、MCU													•	•	•
`	プロセッサ	DSP	•													•	•
体		ASSP	•		•	•			•		•		•		•	•	•
PT	特定用途IC	ディスプレイドライバ													•	•	
	NAC/IIÆIC	DMD														•	
		LED															•
	カスタムIC		•												•		•
	表示デバイス						•										•
子	水晶デバイス	ζ		•					•						•		
部	コネクタ・ス	スイッチ・プリント基板										•					•
品	モジュール製	製品						•									•

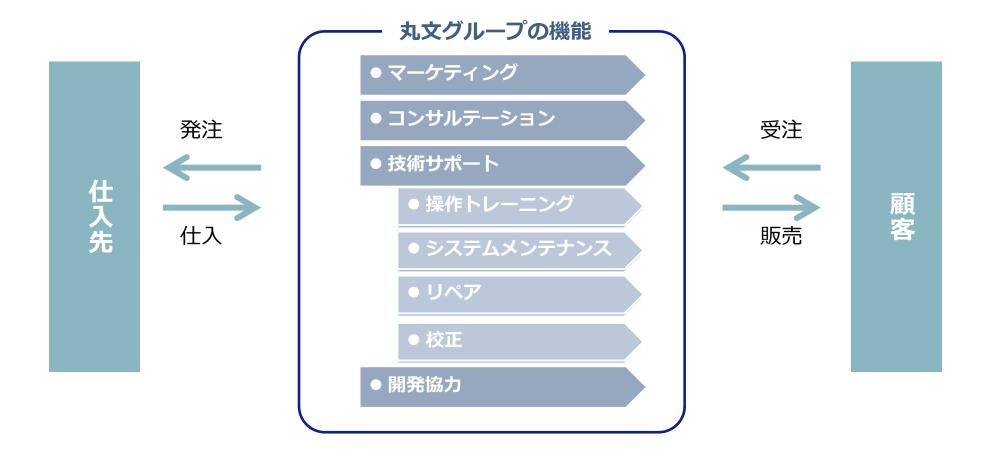
デバイス事業:主要取扱い製品(用途別)

		通信機器	コン 0ピュ 4	産業機器	自動車	民 生 機 器
半導体						
アナログIC	アナログ	•	•		•	•
r J LIVIC	ディスクリート	•				
標準ロジック	IC	•				
メモリーIC	DRAM	•	•			
メモリール	フラッシュ	•				
マイクロ	MPU、MCU	•				
プロセッサ	DSP	•				
	ASSP	•				
特定用途IC	ディスプレイドライバ	•			•	
付足用壓IC	DMD	•	•	•		
	LED	•				
カスタムIC	カスタムIC				•	
電子部品						
表示デバイス			•	•	•	•
水晶デバイス				•	•	•
コネクタ・スイッチ・プリント基板						
モジュール製品			•			



システム事業:特徴と強み

- ■ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- ■システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート



システム事業:グループ会社概要

社 名	本 社	設立年月	出費比率	事業内容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100%	医用機器および試験計測機器の 仕入販売・修理・メンテナンス
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100%	試験計測機器の仕入販売
株式会社フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51%	システム製品の修理・メンテナン ス、エンジニアリングサービス

システム事業:主要取扱い製品①

	分野	主要取扱商品	主要仕入先	k±+D\Z /= \/\/ DD
	産業機器 医用機器	検査装置 組立・検査装置	ユニハイトシステム、FEI、島津製作所、 アキム、セイコーエプソン	情報通信機器 レーザ機器 3% 産業機器
		組込ソリューション 科学機器	ARTESYN、Aitech、ADLINK、 LayTec、Riber	10% 38%
		画像診断機器	シーメンス、島津製作所、コニカミノルタヘルスケア	航空宇宙機器
		人工透析機器	日機装、旭化成メディカル、 カネカメディックス	19/3月期 システム事業 品目別売上高
	レーザ機器	半導体レーザレーザ加工機	nLight、Laserline	51,621百万円
		光機器	Excelitas Technologies Luminus Devices First Sensor	
	航空宇宙機器	宇宙関連機器 計測・センサ	Tele Communication Systems、 GEセンシング、Meggit、Plascore	医用機器
		航空関連機器 高周波電子機器	TEXTRON、L3HARRIS T&RF、CPI、Bird	36%
	情報通信機器	RF・光通信 測位タイミング	PCTEL、Finisar、EXFO、 Microsemi、Calnex、Spirent	

システム事業:主要取扱い製品②

航空宇宙機器



BEI Sensors社 高信頼性部品



CPI社 マイクロ波電子管

産業機器



島津製作所 ガスクロマトグラフ質量分析計



FEI社 赤外線発熱解析装置



アキム 電子部品組立装置



FUJI 大気圧プラズマ表面改質装置

システム事業:主要取扱い製品③

レーザ機器





Laserline社 レーザー加工装置

情報通信機器



Microsemi社 ネットワークタイムサーバー



Spirent社 GNSSシミュレータ

医用機器



シーメンス・ジャパン社 X線CT装置

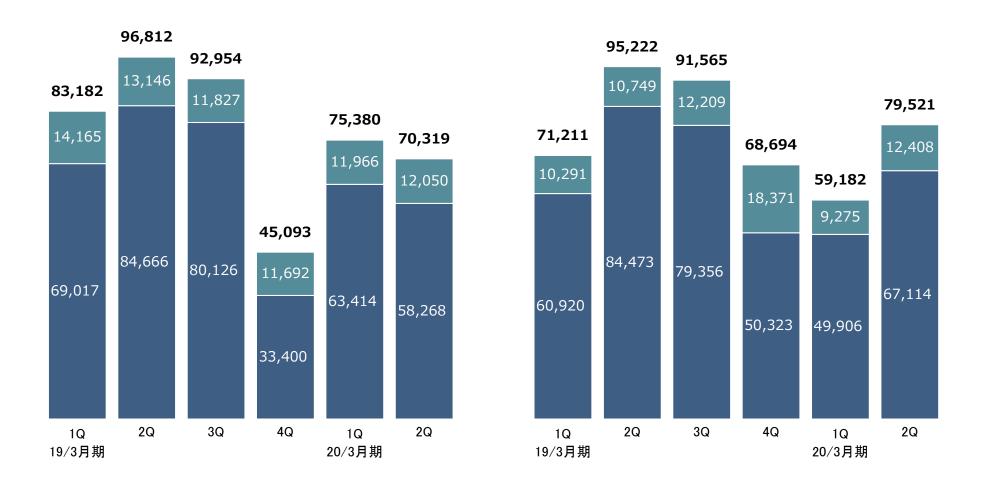
業績四半期推移(事業別受注高・事業別売上高)

事業別受注高

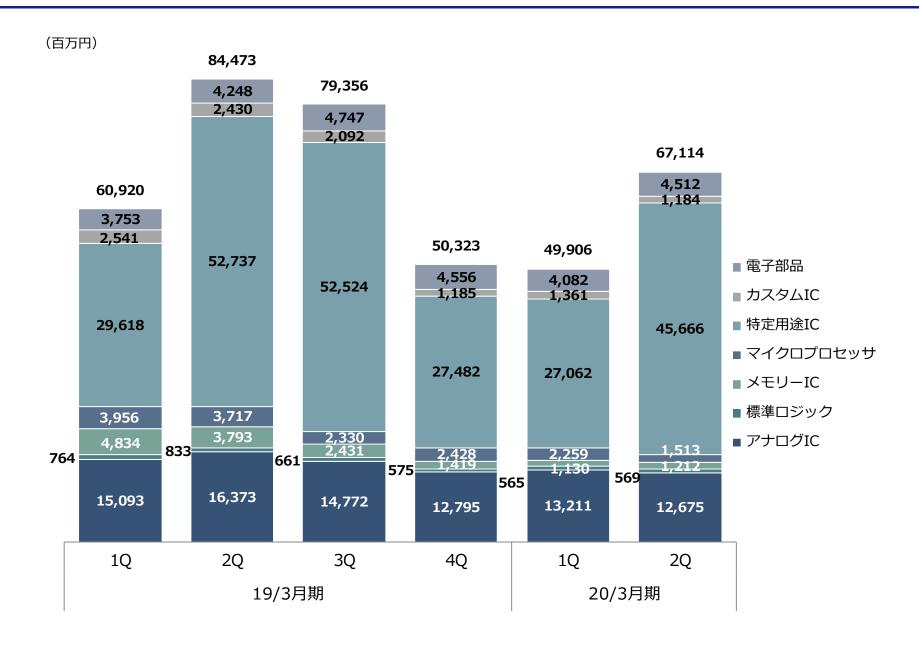
事業別売上高

(百万円)

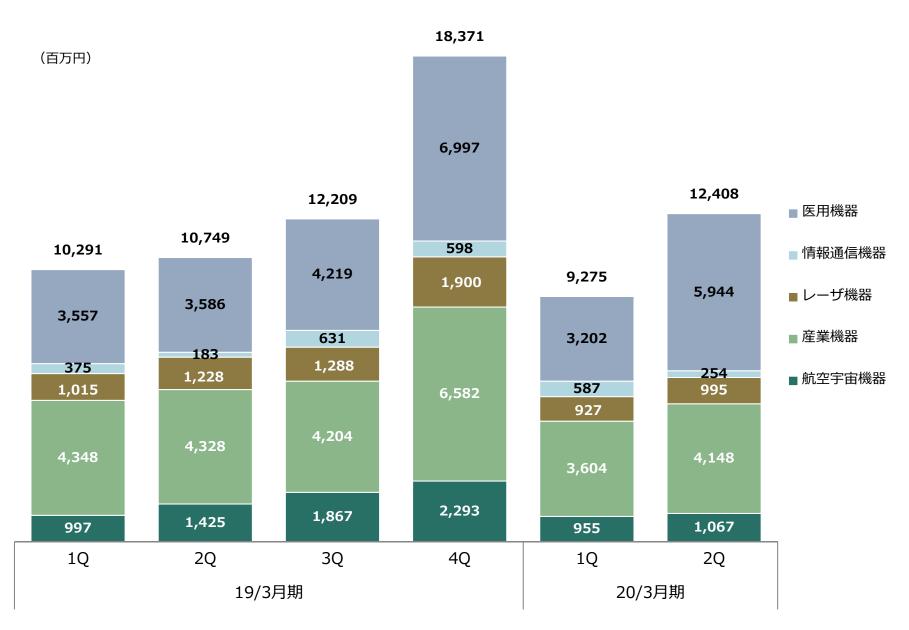
■ デバイス事業 ■ システム事業



業績四半期推移(デバイス事業:品目別売上高)



業績四半期推移(システム事業:品目別売上高)



本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び 合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により 異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

TEL 03-3639-3010

E-mail ir@marubun.co.jp